

- 年度中部十県一市児童自立支援施設長会議，新潟，2010年9月16日
- 36) 島田久幸：児童虐待の事例検討会．五泉市要保護児童対策地域協議会実務者研修会，五泉，2010年9月24日
- 37) 島田久幸：三障害のサービス一元化からみえてきたもの．平成22年度新潟県知的障害者福祉協会第7回居宅介護等分科会研修会，新潟，2010年10月22日
- 38) 島田久幸：障害者が地域で自立生活を送るために必要なこと（パネルディスカッション）．障がい者福祉フォーラム，新発田，2010年12月8日
- 39) 島田久幸：リフレーミングの手法を学ぶ．五泉市障害者自立支援協議会療育部会研修会，五泉，2011年2月10日
- 40) 島田久幸：自立支援協議会を地域の宝とするには～まず知ろう、そして活用しよう～．柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会全体報告会，柏崎，2011年3月4日

歯科総合診療部

【著書】

- 1) 石崎裕子，福島正義：Tooth Wear と天然歯の生理的摩耗量．医歯薬出版(株) 歯界展望 Vol. 115 No.6:1142-1143, 2010年6月
- 2) 石崎裕子，福島正義：質問に答えて「切削介入はいつ?」．日本歯科理工学会雑誌 29 (4) :322～323, 2010

【論文】

- 1) 安島久雄，魚島勝美，小野和宏，藤井規孝，井上誠，山村健介，斎藤功，興地隆史，高木律男，前田健康：新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性．日本歯科医学教育学会雑誌 26 (3) :349-353, 2010
- 2) Kobayashi T, Murasawa A, Komatsu Y, Yokoyama T, Yamamoto K, Ishida K, Abe A, Yamamoto K, Yoshie H: Serum cytokine and periodontal profiles in relation to disease activity of rheumatoid arthritis in Japanese adults. J Periodontol 81 (5) :650-657, 2010.
- 3) Wakabayashi H, Kondo I, Kobayashi T, Yamauchi K, Toida T, Iwatsuki K, Yoshie H: Periodontitis, periodontopathic bacteria and lactoferrin. Biometals, 23:419-424, 2010.
- 4) Yokoyama T, Kobayashi T, Yamamoto K, Yamagata A, Oofusa K, Yoshie H. Proteomic

- profiling of human neutrophils in relation to immunoglobulin G Fc receptor IIIB polymorphism. J Periodont Res 45 (6) :780-787, 2010.
- 5) Shimizu E, Kobayashi T, Wakabayashi H, Yamauchi K, Iwatsuki K, Yoshie H. Effects of orally administered lactoferrin and lactoperoxidase-containing tablets on clinical and bacteriological profiles in chronic periodontitis patients. Int J Dent 201: 405139. Epub 2011 Apr. 8.
- 6) Okada M, Kobayashi T, Ito S, Yokoyama T, Komatsu Y, Abe A, Murasawa A, Yoshie H. Antibody responses to periodontopathic bacteria in relation to rheumatoid arthritis in Japanese adults. J. Periodontol 2011 in press.

【研究費獲得】

- 1) 小林哲夫，小松康高：ゲノムメチル化プロファイルによる歯周炎とリウマチの共通発症機序の解明．日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究 (C) 22592309, 2010.
- 2) 吉江弘正，小林哲夫，久保田健彦，小松康高：歯周炎・リウマチにおける IL-6 エピジェネティクス病因論の確立．日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究 (B) 22390396, 2010.
- 3) 中島貴子，山崎和久，多部田康一，伊藤晴江：研究者名 (研究代表者を筆頭に記載：レギュラトリー細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響－敵か味方か－)．日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B)，21390555, 2010.
- 4) 中島貴子：CD 1 d 欠損マウスにおける歯周病原細菌感染が動脈硬化と脂質代謝に及ぼす影響．新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究，2010.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 小林哲夫，清水英寿，若林裕之，山内恒治，岩附慧二，吉江弘正：ラクトフェリン+ラクトパーオキシダーゼ配合錠摂取による歯周炎への影響．日本ラクトフェリン学会第4回学術集会，滋賀県長浜市，2010年11月13日．同学術集会プログラム：17頁，2010.
- 2) 中島貴子：歯周炎の発症・進展における T 細胞免疫の関わり．シンポジウム「歯周組織への感染とそれに対する免疫応答の特異性とは」．第53回春季日本歯周病学会学術大会、盛岡市、2010.5.14、日本歯周病学会会誌第52巻春季特別号 P64, 2010.

【学会発表】

<国際学会>

- 1) Kobayashi T, Murasawa A, Komatsu Y, Yokoyama T, Ishida K, Abe A, Yamamoto K, Yoshie H.: Serum cytokine and periodontal profiles related to rheumatoid arthritis activity. The 96th. Annual Meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Japanese Society of Periodontology. Honolulu, Hawaii, October 30-November 2, 2010. 第96回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会2010大会. 日本歯周病学会会誌第52巻第3号 p.302, 2010.
- 2) Komatsu Y, Kobayashi T, Shimada Y, Yoshie H.: Genetic influence of serum interleukin-6 and its soluble receptor levels. The 96th. Annual Meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Japanese Society of Periodontology. Honolulu, Hawaii, October 30-November 2, 2010. 第96回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会2010大会. 日本歯周病学会会誌第52巻第3号 p.295, 2010.
- 3) Ishida K, Kobayashi T, Yokoyama T, Komatsu Y, Yoshie H.: DNA methylation status of the interleukin-6 gene promoter in periodontitis. The 96th. Annual Meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Japanese Society of Periodontology. Honolulu, Hawaii, October 30-November 2, 2010. 第96回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会2010大会. 日本歯周病学会会誌第52巻第3号 p.294, 2010.
- 4) Yokoyama T, Kobayashi T, Yamamoto K, Yamagata A, Oofusa K, Yoshie H.: Proteomic analysis of neutrophils associated with Fc γ -RIIIb polymorphism. The 88th International Association for Dental Research. Barcelona, Spain, July 14-17, 2010.
- 5) Sugita N, Iwanaga R, Kobayashi T, Yoshie H.: Fc γ -RIIIb gene polymorphisms associated with periodontitis and specific antibody production. The 88th International Association for Dental Research. Barcelona, Spain, July 14-17, 2010.
- 6) Nakajima T, Okui T, Kajita K, Yonezawa D, Miyashita H, Yamazaki K. Sitaflaxin is effective for reduction of pocket bacteria in SPT phase. 88th General session of the IADR, Barcelona, July 15, 2010.
- 7) Nakajima T, Honda T, Okui T, Kajita K, Domon H, Takahashi N, Maekawa T, Tabeta K, Yamazaki K:

Periodontal treatment improves arterial stiffness. The 96th Annual Meeting of American Academy of Periodontology in collaboration with the Japanese Society of Periodontology, Honolulu, November 1, 2010.

- 8) Ishizaki H, Han L, Okiji T, Fukushima M: Effect of drinks on flexural strength of flowable resins. IADR 88th General Session & Exhibition, July 14-17, 2010, Barcelona, Spain, Journal of Dental Research vol. 89, Special Issue B, Abstract #730

<国内学会>

- 1) 山本幸司, 小林哲夫: 重度慢性歯周炎患者に、歯周組織再生療法、矯正治療により改善した一症例. 第53回春季日本歯周病学会学術大会、盛岡、2010年5月15日. 日本歯周病学会会誌第52巻春季特別号: 130頁、2010.
- 2) 横山智子, 小林哲夫, 山本幸司, 吉江弘正: Fc γ RIIIb 遺伝子多型に関わるヒト好中球のプロテオーム解析、平成22年度新潟歯学会第1回例会、新潟、2010年7月10日. 新潟歯学会雑誌第40巻第2号2010.
- 3) 横山智子, 小林哲夫, 山本幸司, 吉江弘正: 歯周炎感受性に関わる好中球Fc γ RIIIb 遺伝子多型のプロテオーム解析. 第53回秋季日本歯周病学会学術大会、高松、2010年9月19日. 日本歯周病学会会誌第52巻秋季特別号: 90頁、2010.
- 4) 石田光平, 小林哲夫, 小松康高, 横山智子, 岡田萌, 吉江弘正: 歯周炎および関節リウマチ患者におけるIL-6 遺伝子プロモーター領域のメチル化解析. 第53回秋季日本歯周病学会学術大会、高松、2010年9月19日. 日本歯周病学会会誌第52巻秋季特別号: 90頁、2010
- 5) 清水英寿, 小林哲夫, 若林裕之, 山内恒治, 岩附慧二, 吉江弘正: 歯周炎患者におけるラクトフェリン・ラクトパーオキシダーゼ経口投与による臨床、細菌、生化学的变化. 第53回秋季日本歯周病学会学術大会、高松、2010年9月19日. 日本歯周病学会会誌第52巻秋季特別号: 87頁、2010.
- 6) 小松康高, 両角俊哉, 小林哲夫, 奥田一博, 阿部大輔, 吉江弘正: Er: YAGレーザーによるSRPの治療効果および菌血症予防効果の検討. 第53回秋季日本歯周病学会学術大会、高松、2010年9月19日. 日本歯周病学会会誌第52巻秋季特別号: 107頁、2010.
- 7) 清水英寿, 若林裕之, 小林哲夫, 吉江弘正: 歯周病患者におけるラクトフェリン+ラクトパーオキシダーゼ錠剤摂取による体感効果、及び臨床効果との

関係 日本歯科東洋医学会第28回学術大会、郡山、2010年11月6日。日本歯科東洋医学会第28回学術大会プログラム抄録集：24頁、2010。

- 8) 若林裕之, 清水英寿, 小林哲夫, 山内恒治, 樋田知宏, 岩附慧二, 吉江弘正: ラクトフェリン+ラクトパーオキシダーゼ配合錠菓のバイオフィルム抑制活性及び体感効果の評価 日本ラクトフェリン学会第4回学術集会、滋賀県長浜市、2010年11月13日。同学術集会プログラム：35頁、2010。
- 9) 中島貴子: 広汎型侵襲性菌周炎製菌周炎に対して機械的炎症因子除去とクロスアーチ固定により対応した症例。第53回日本歯周病学会秋季学術大会、日本歯周病学会会誌第52巻秋季特別号、P116、高松市、2010.9.19。
- 10) 石崎裕子, 福島正義: 生理的磨耗による切縁・咬合面の象牙質露出に関する予備的調査。日本歯科保存学会2010年度春季学会(第132回)、熊本、2010-6-4~5、日本歯科保存学会雑誌53春季特別号、149頁、2010
- 11) 田口裕哉, 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 興地隆史, 前田健康: webカメラを用いた術者視点動画教材作製の試み。第29回日本歯科医学教育学会、盛岡市、2010.7.23-24。

【受賞】

- 1) 2010年11月6日第3回総合歯科協議会学術大会若手ポスター発表コンペティション
第1位 宮武莉奈 他
第5位 佐藤友有子 他

【その他】

<抄録>

- 1) 田口裕哉, 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 興地隆史, 前田健康: Webカメラを用いた術者視点動画教材作製の試み。第29回日本歯科医学教育学会学術大会抄録集:72,2010
- 2) 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 田口裕哉, 興地隆史, 前田健康: 新潟大学歯学総合病院歯科医師臨床研修における複合型プログラム研修歯科医の評価。第29回日本歯科医学教育学会学術大会抄録集:162,2010
- 3) 宮武莉奈, 田口裕哉, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 藤井規孝: 治療用義歯で咬合高径と水平的顎位の改善を図った症例。第3回総合歯科協議会学術大会抄録集:26,2010
- 4) 西野和臣, 石崎裕子, 小林哲夫, 中島貴子, 藤井規孝, 田口裕哉: 上顎全部床義歯作製の治療経験。第3回総合歯科協議会学術大会抄録集:27,2010

- 5) 登坂祐介, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 藤井規孝, 田口裕哉: 総義歯作製における筋形成の重要性。第3回総合歯科協議会学術大会抄録集:28,2010
- 6) 有田圭, 中島貴子, 田口裕哉, 石崎裕子, 小林哲夫, 藤井規孝: 鉤歯を再補綴する際の診療手順。第3回総合歯科協議会学術大会抄録集:29,2010
- 7) 佐藤友有子, 下条智子, 田口裕哉, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 藤井規孝: エンド・ペリオ病変への取り組み。第3回総合歯科協議会学術大会抄録集:30,2010
- 8) 齋藤大輔, 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 田口裕哉: 咬合力の強い患者に対する治療計画の立案。第3回総合歯科協議会学術大会抄録集:31,2010
- 9) 小林哲夫, 藤井規孝, 中島貴子, 石崎裕子, 田口裕哉: 平成22年度歯科医師臨床研修症例報告集第11号, 新潟大学歯学総合病院, 新潟県新潟市, 2011年3月

<座長>

- 1) 藤井規孝: 第3回総合歯科協議会学術大会2010.2010年11月6日

<講演>

- 1) 藤井規孝: 新潟歯学会教授就任講演 2010年7月10日
- 2) 藤井規孝: 石川県同窓会講演 2010年11月20日
- 3) 藤井規孝: 秋田市歯科医師会講演 2011年1月22日
- 4) 小林哲夫: 歯周病: 遺伝子とリウマチとの関わり。平成22年度新潟大学歯学部同窓会福島県支部学術講演会。福島市、2010年6月19日。
- 5) 中島貴子: 新潟県歯科衛生士会研修会 SPT・メンテナンスに必要な知識と技術 2011年3月27日

インプラント治療部

【論文】

- 1) Metwaly H., Maruyama S., Cheng J., Hoshina H., Takagi R.: Central Schwannoma of the mandible: report of a case and review of the literature. Oral Med Pathol. 29: 29-33, 2010.
- 2) Sugai T, Yoshizawa M, Kobayashi T, Ono K, Takagi R, Kitamura N, Okiji T, Saito C.: Clinical study on prognostic factors for autotransplantation of teeth with complete root formation. Int J Oral Maxillofac Surg. 39(12): 1193-1203, 2010.
- 3) Yamada K., Hoshina H., Arashiyama T., Arasawa M.,